

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/09/02号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

2500ドルで利下げ待ち

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



前々週と同じくゴールドは2500ドル近辺での小動きに終始しました。ドルインデックスが100という昨年7月以来の安値に沈み、それがゴールドの堅調さを支えています。特にほかに大きな材料はなく、ゴールドの歴史的な高値は7月21日の2531ドル。ここが現在の天井となっており、前週も4度2530ドルをトライする場面がありました。しかし超えることはできずそのたび2500ドルへと戻すというサイクルが繰り返され、金曜日にもまさに2527ドルまで上昇のあと一時2500ドル割れ、引けにかけて2500ドルを回復して一週間が終わりました。この週末は米国はLong weekendであり、月曜日はlabor day holiday。そのため次に来るマーケットの注目点は水曜日のADPそして金曜日の雇用統計。市場予想は前回7月の11.4万人と予想の17.5万人増を大きく下回る数字であったのに対して若干の改善16.5万人増。もしまたこの予想を下回る雇用状況となった場合は9月の利下げがより強く認識され、ゴールドがさらに買われることになるでしょう。それまでは2500-2530ドルのレンジでの小動きが続きそうです。円建てゴールドもドル建てゴールドがドルの動きに反応しているため、円高とゴールド高、円安とゴールド安という動きが素直に出ており、11600円から11800円の間での小動きになっています。このドルとゴールドの関係が現在のところ強固になっているので、円建てゴールドも金曜日まではこのレンジの中の取引となると思います。7月にインドがゴールドとシルバーに対する輸入関税を15%から6%へ9%の大幅な引き下げを行いました。これにより、それまでの高価格での買い控えから国際マーケットに対して深いディスカウントになっていたインドの国内ゴールド価格はプレミアムとなり、今年のインドのゴールド輸入量は750トンとの予想から850トンへWGCが見込を上方修正、今年後半はインドの買いが新たなゴールドの上昇要因となるでしょう。現物のみならず、ゴールドETFにも税制を改善、こちらもインドからの投資マネーの増加が予想されます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

また30ドルは重たかった、ということになりました。シルバーにとって30ドルはとても重要な心理的抵抗線だと言っているのでしょうか。30ドル以上を維持できなかったことでの失望売りで29ドルをも割って一週間が終わりました。金銀比価も86まで上昇。ふたたびシルバー割安へと動いています。



Gold ETF残高とゴールド価格



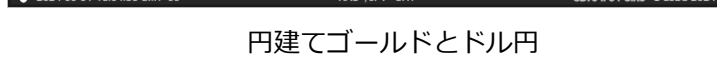
「プラチナの現状」

前々週に上昇したプラチナですが、そのレベルを維持できずに下落。ゴールドとの値差は1570ドルを越えて史上最大の値差を更新してプラチナの割安さがさらに強調されることになりました。プラチナ割安状態はまだまだ続きそうですね。

米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで